

無痛分娩をお考えの方へ

2017 年より休止していた無痛分娩を再開します。

「未知の陣痛が怖い。」「もう 1 人産みたいけど、あの痛みが躊躇させる。」など、再開の要望が多かったためです。

無痛分娩には出産に対するハードルを下げ、気持ちを後押しするメリットがあります。

納得のいく出産が増え、地方の少子化対策に貢献できれば良いなと思っています。

無痛分娩の体制は施設により異なります。以下の内容をご理解ください。

早めに当院の体制をご理解いただき、分娩施設選択の検討材料にさせていただけると幸いです。

(インフォメーション)

- ☐ 当院の無痛分娩は計画無痛分娩になります。妊娠 39 週ごろの計画出産となります。
曜日はこちらで指定させていただきます。
- ☐ 硬膜外麻酔をつかった無痛分娩になります。
- ☐ 開始のタイミングは陣痛開始後、子宮口開大 5cm を目安にしています。
- ☐ 効果は人によって異なります。痛みが取れないこともあります
- ☐ 初産婦さんは‘効果が実感しにくい方’が経産婦さんより多いです。

(できない場合)

- ☐ 院長が出張や病欠で不在時
- ☐ 骨盤位や帝王切開後の妊婦さん
- ☐ 硬膜外麻酔に向かない持病をお持ちの妊婦さん
- ☐ 臨月の内診所見で経膈分娩に向かないと判断した場合
- ☐ お薬がない場合※

※製薬会社の都合により、全国的に麻酔薬の供給が滞っています(2024 年現在)。

(費用について)

- ☐ 費用は 8 万円程度です。分娩所要時間、出産の時間帯によって 12 万円になることもあります。緊急無痛分娩は 12-14 万円になります。

(説明)

説明は①概要編 ②詳細編に分かれます。

- ① 概要編(10 分程度；要予約)；当院の無痛分娩の体制や注意点についてお話しします。
まず予約をお取りください。時間帯は AM 外来終了後になります。

LINE 電話で①概要編をお話します。

お聞きになったうえ、里帰り分娩をするかどうかご検討ください。

※LINE 電話の ID はお電話にてお伝えします。

② 詳細編(20 分程度：要予約)：メリットやデメリット、合併症についてお話します。
必ず予約が必要です。予約は AM 外来最後の方になります。

① 概要編は妊娠の早い時期に説明を受けてください。

② 詳細編は帰省後の 32-34 週ごろに行います。

初産婦さんは‘必ず’ご夫婦で説明を受けてください。

経産婦は‘できれば’ご夫婦で説明を受けてください。

※ご主人が来院できない場合はご両親や血縁者でもかまいません。

(申し込み)

ご夫婦で検討のうえ 36 週ごろ、無痛分娩をお申し込みください。